

NPO法人
認証記念式典



実力を高め、新しいことにも挑戦！

代表理事 大島 進

新年明けましておめでとうございます。

ユニコムかつしかは昨年十一月NPO法人として再出発しました。今年二〇〇七年は、ユニコムかつしかが地域のニーズに名実ともに応えられるNPO組織として成長するため、さらに実力を高めると同時に、新しい活動にも挑戦する年にしたいと考えています。

そのために組織として取り組むべき課題を、三つだけ挙げます。

一 自分たちが「したいこと」ではなく、地域の人たちが「して欲しいこと」の視点で日常の活動を改善・充実させ、講習会などの利用者の方々により満足して頂くよう実践すること。

二 地域に根ざす団体として、地域のニーズを充たすための企画提案を、他団体や企業や行政などとの連携も視野にいれながら、対外的にも積極的にやっていくこと。

三 公的な団体としての管理運営が安定的に行えるよう、計画・実施・評価・改善のサイクルに基づく組織運営体制を整備すること。

これら三つの課題に、役員一同、積極的に取り組みたいと思いますので、会員や関係者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、今年は葛飾区の一部の公共施設の運営民営化検討がより具体的に動き始めます。

これは、誰もが自由に交流する地域コミュニティづくりを旨とするユニコムかつしかにとって、目標実現に近づく大きな機会でもあります。

新しい年、実力を高めると同時に新しいことにも挑戦しましょう！

「パソコンボラかつしか」



ボランティア・スピリットに満ち溢れる会になって行きたいという願いの下にたとえ障害があつたとしても、高齢者であっても、主婦として金銭と時間に余裕がなくても、ほんの少しの努力があればパソコンが出来るようになる。そんなネットワークを構築するという願いをもって1999年4月に「パソコンボラかつしか」は生まれました。

「パソコンボラかつしか」は、特に活動拠点は持っていません。メーリングリストで情報交換やサポートの依頼を行うバーチャルな組織です。障害者（特に視覚障害者からの依頼が多い）がパソコンを使っているときに、トラブルに遭遇して動けなくなったりしたときなどに、自宅へ訪問して対応してあげることが中心的な活動です。サポートの依頼はホームページから受け付けるようになっていますが、ボランティア団体や自治体等からある

程度認知されているので、どこかからの紹介でサポート依頼が来ることもあります。

なぜ、視覚障害者からの依頼が多いかというと、視覚障害者は音声に頼ったパソコン利用をしますが、音声ソフトを使うと、通常のPCよりも動かなくなることが多いのです。さらに、いったん動かなくなると音が出なくなるので、視覚障害者には、何がどうなっているかまったくわからない状態になってしまいます。必ずしも難しいサポートをしてあげる必要はありません。代わりに状況をみてあげて、メーカーやプロバイダーへの問い合わせをしてあげるだけでも助かります。

特に活動を限定しているわけではありませんが、ユニコムかつしかやPC葛飾など、様々な活動をしてきている団体が葛飾区にはたくさんできてきたので、あまり多くのことをする必要がなくなってきたという感じですね。（いい傾向ですね。）人のネットワークとして、ユニコムかつしかともつながっていききたいと思っています。



紹介

「ユニコム誌編集者養成講座」

ユニコム誌編集者養成講座が葛飾区高齢者支援課主催で九月二十四日より十二月十七日の毎日曜日に開催された。「情報の受け手から送り手・発信者に」をキャッチフレーズに、受講者約三十名が「地域の魅力的な人・もの・こと」を掘り起こして広く紹介・発信しよう」と集まった。ユニコムかつしかから六名が参加。その中の一人、結城市在住の日高さんに体験記を投稿してもらいました。

「受講体験記」 日高 美知子

第二回目講座では地域雑誌編集の魅力「谷根千こぼれ話し」講師の山崎さんの話の中でその街出身の方と外から転勤で来られた方とで取材活動を始め、二十数年続いている話や、その間の生活状況、取材秘話、経済状態など編集裏話に引き込まれてしまいました。また読売新聞記者の森重さんの、記事の書き方、テクニック、失敗談など盛沢山の取材裏話にも興味を持ちましたので、当日の新聞記事東京版の原版と結城市で配布された新聞とを比較、都市版と地方版では写真の枚数も異なることがあるとの話でした。帰宅してすぐに確かめましたが、ほぼ同じでした。講座を受講し終えた今、この成果を自分の生きがいさとしに活かそうと、自分に言い聞かせている此の頃です。

（注）文中「谷根千」とは谷中、根津、千駄木、地区の意

「東京e大学」NPO法人

事の発端は2002年3月3日に、開催された「タウンミーティング・イン・葛飾」でした。

「これからは知力の時代」と言われる中、人口約280万人を有する下町城東地区には「殆ど大学が無い」という状況に着

目した私たちでしたが、大学誘致は、財源上実現性が極めて乏しいという大きな壁が立ちただけではありません。

「ならば自分達の気概と力で作ってしまおう！」ということで、インターネット上に東京e大学という学びの場を作りました。

設立母体は「NPO葛飾区若手産業人会（現かつしか若手産業人会）。葛飾の地域と産業の活性化を目的としたNPOで数々のイベントを遂行するエキスパート集団です。

最初に取り組んだのが「城東ブロードバンドビジネス塾」という「良くあるパワーポイントセミナーをそのままネットでパソコンの画面を通じて見せる」という仕掛けで、多摩大学の齊藤裕美教授、千葉商科大学の工藤剛治先生など



の協力で「中小企業や起業予定者が実際に立つような講座」を作成し、配信しました。

配信と受講生管理に当たってはその当時ですら全国で9万名の受講生を有し、文部科学大臣賞を受賞した「富山インターネット市民塾」の全面的な協力を頂きました。

これをきっかけに平成15年4月にNPO東京e大学を設立。その後「中小企業やNPOのお役に立つeラーニング」の実験を繰り返しております

「東京e大学」の受講登録生は現在約1,000名。ここで講座を開講して頂ける方、あるいはスクリーニングに参加される方はNPO東京e大学のメンバーになります。

ユニコムかつしかとの連携としては、東京e大学受講生への各種講座の提供や、中小企業ネットワークからの受発注情報の提供や人材紹介などが考えられます。「楽しく役に立つ学びの場づくり」を今後とも色々な皆様とのかかわりで進めていきたいと思っております。

座の提供や、中小企業ネットワークからの受発注情報の提供や人材紹介などが考えられます。「楽しく役に立つ学びの場づくり」を今後とも色々な皆様とのかかわりで進めていきたいと思っております。



有言実行・無言実行・有言不実行・無言不実行と人それぞれのタイプがある。どのタイプがよくてどのタイプが悪いとは断定できないが、よく注意された言葉が「無言不実行」のタイプだけは好ましくないであった。

団体での行動には「有言実行」タイプでない、仲間を引っ張っていくことが難しい。女子バレーボール大松監督の「黙って俺についてこい」の「無言実行」タイプは過去のものとなり、現代に於いては「有言実行」タイプでない、指導者（管理者）には向いていないと思われる時代になっている。

しかし、何事もそれ相応の知識に基づく自信がないと、簡単には「有言実行」宣言は難しいと感じる。自信とは何を基準に「ある・なし」の判断をするものなのか？ 何事も100%自信があると豪語される方もいるが、虚言者のたわごとと思ってしまう。

特にシニアは長年培った経験から「人格者」と認めざるを得ないが、「自分が一番」的な発言・行動には私の意見も聞いてくれと言いたい時もあるが、争いをしたくない性格から敢えて意見を言わずに黙ってしまい「暗黙の了解」の誤解を与えていることがあるのを反省しているが、これが人間関係の一番難しいところである。相手も自分も傷つかない方程式があれば最高です。

（矢野 清彦）

たつみ敬老館のPC事業

たつみ敬老館のパソコン事業は西新小岩の敬老館で、区民（特にシニア）対象にパソコンを初歩から中級までを、完全に一对一の形で教える講座です。

これは区の高齢者支援課から委託されている事業で、「ユニコムかつしか」の前身の「葛飾ITクラブ」に平成十五年、区の高齢者支援課から声をかけられて始まり、初めて地域社会へ参加することになった事業です。

今、実施されているパソコン講座は火曜日が初級水曜日がなんでも相談、木曜日と金曜日が基本のきといった内容です。受講者も定員3名といったこじんまりとした教室に講師陣も3名ついています。ですから受講者の上達も早く、毎回、講座終了時の感想を聞くと好評です。

講師陣はS I T A（シニアITアドバイザー）やシニアド（シニア情報生活アドバイザー）の指導者資格を取得した当会員が講座の実施に当たっています。

平成十五年の開設当初から比べるとパソコン指導のための教室環境や視聴覚教具などが飛躍的に整備され、効率よく指導が展開されています。

現在、たつみワーキンググループは伊藤会員を中心に講座運営を行い、来期に向かっての更なる充実を図ろうと、講師間の学習会などを行いな

ら指導技術の向上を目指しております。

また他のワーキンググループとの交流も増やしながら、多くの会員の皆様に参加して頂き、「ユニコムかつしか」のPC事業の基盤を充実させ、発展に寄与できればと願っています。

話が前に戻りますが、平成十五年の当PC教室開設当時は敬老館のロビーに長い机を置き3台のパソコンを並べて指導を始めたものでした。

隣の部屋から碁や将棋をしている人達の話が入ってきたりする有様で学習環境としては貧弱なものでした。このようなところを、玉木会員が区の関係職員の方との地道な交渉に尽力され、今のたつみ敬老館PC教室の発展の基盤整備に尽くされたことを一言申し添えます。

※ たつみ敬老館のパソコン教室はじめ区内で実施されているパソコン教室の案内は、毎月「広報かつしか」に掲載されておりますので、それでご確認ください。（株田）

授業風景



総務部より

新しい年がスタートしました。今年も総務からのお知らせをこの欄に掲載していきますのでよろしくお願ひします。

隔月に開催されている定例会を今回は懇談会形式で行いたいと思います。皆さんが普段疑問に思っている事や、忌憚の無い意見、提案等なんでも結構です。この機会に理事さんや会員の皆さんと一緒に話し合ってみませんか。話しているうちにとてもいい案に発展する可能性もあると思います。ワーキンググループ、事業担当者の方からの活動報告も予定しています。

沢山の方のご出席をお願い致します。

編集後記



つい先頃「暑いですね」と挨拶していたのに、もう「おめでとうございます」となり、月日の経つのが早く感じますね。

皆様ご存知のように、わがユニコムも約半年にわたって開設準備をしてきた法人認証も許可が下り、漸く正規活動を展開することになりました。編集員もこの快挙にもろ手を挙げて、喜んでい

る次第です。これを機会に「ユニコム通信」も尚一層発展すべく、日夜取材活動を展開するつもりですので、これからもよろしくお願ひします。（芳）